

小児在宅ケア研究会第20回年次集会 参加者の感想

- 大変勉強になった、有意義な講義だった。
- どれも興味深く、深い内容だった。
- 色々な話を聞いて楽しく、勉強になった。
- 子どもが主体であるとは何かを改めて考えさせられた。
- 子どもが大人に気がつかっていることに衝撃をうけた。
- 自分の看護の在り方を見直すきっかけになった。
- 報告も講演も聞いてよかった。
- 普段立ち止まれている看護の考え方を教えてもらった。
- 共感でき、自分を振り返ることができた。
- 看護師としてのマインドの変化が必要だと気づかされた。
- 子どもとの生死の話題に向き合い、共にありたいと思った。
- 子どもの主体性を守り、育む意識を持ち続けたい。
- 子どもの反応を通じて家族と関わることの重要性を再認識した。
- NICUでもきょうだい面会ができるようにしたいと思った
- 他施設の取り組みや知見が得られた。
- 自部署でも参考にしたい内容があった。
- 修了生の取り組み発表も非常に勉強になった。
- 講演は、涙が出るほど感動的だった。
- 講演の「子どもの心の声を聴くために」という演題に強く共感し、考え方が勉強になった。
- 子ども達の声を知るといふ当たり前のようでとても難しいテーマについて事例を用いて話して下さい、とても心に響きました。
- 採血時の声かけなど、実践的な内容が参考になった。
- チャイルドライフスペシャリストについて理解が深まり、保育士との違いを学べた。
- 子どもが主体であるとは何かを改めて考えさせられた。
- 自分の看護の在り方を見直すきっかけになった。